

〈H15-5-A : 解説〉

山頂Aの状態 : 長さ 20m、図上 100 画素 = 写真上の長さ 2.0mm

山頂Bの状態 : 長さ 15m、図上 60 画素 = 写真上の長さ 1.2mm

※一画素 : 20μ (ミクロン) (20/1000 ミリ)

対地高度 山頂A = 1,500m、山頂B = 1,875m $\therefore 1875\text{m} - 1500\text{m} = 375\text{m}$

解答 : 3

〈H15-5-B : 解説〉

ア 「多項式」 : コースごとの調整に使う方法で「コース座標」の言及から。

イ 「独立モデル」 : 「モデル座標」の言及から。

ウ 「バンドル」 : 残った方法。

エ 「バンドル」 : 文脈から。

オ 「多項式」 : 基準点の異常や誤りはまずこれで確認する。

解答 : 5

〈H15-5-C : 解説〉

1. 正しい。独立小物体は一点の座標値で表す。
2. 正しい。線状地物は始点、終点の座標値で表す。
3. 正しい。円データは3点の座標値で表示できる。
4. 誤り。円弧は始点・中点・終点の3点の座標値で表す。
5. 正しい。面データは閉じた図形なので、始点から終点まで連続した座標値の組で表し、始・終点は同一の座標値である。

解答 : 4

〈H15-5-D : 解説〉 4.

1. 正しい。内部機械座標で処理をしている。
2. 正しい。パターン認識による抽出が可能である。
3. 正しい。ディスプレイ上での実体視が可能といわれる。
4. 誤り。写真上にない起伏は認識できない。ただし、片側の写真に写った点から起伏は推定できるとされている。
5. 正しい。デジタルデータなのでこのような加工が容易である。

解答 : 4